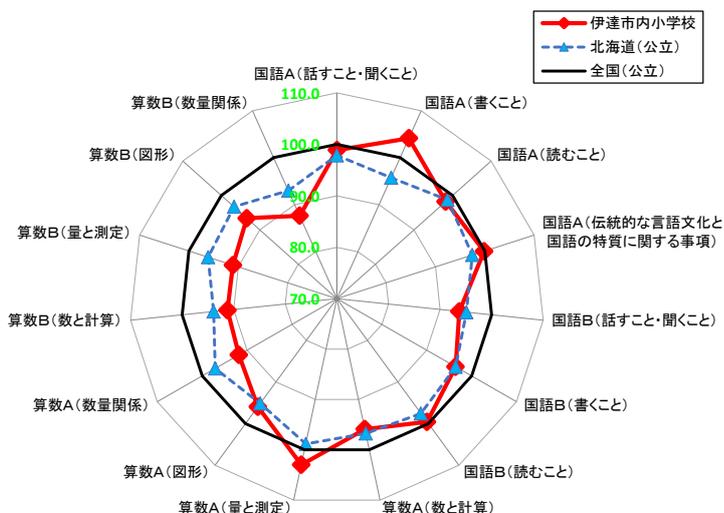


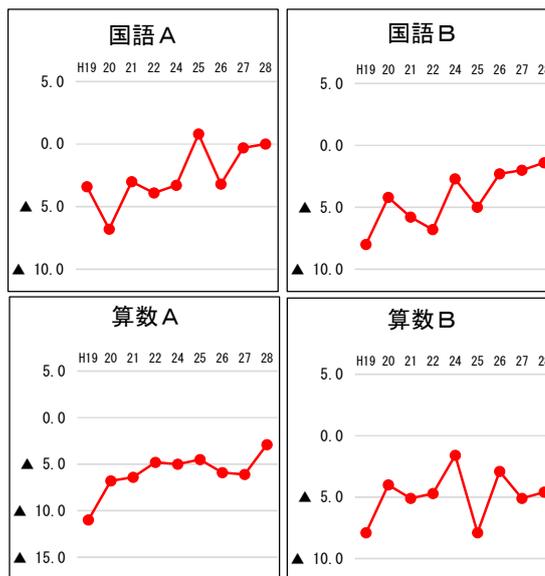
伊達市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:9、児童数:295名)

【教科全体の状況】

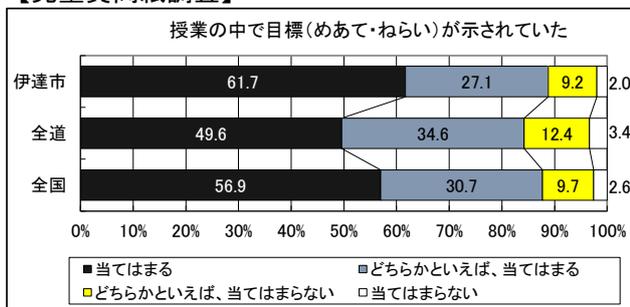
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



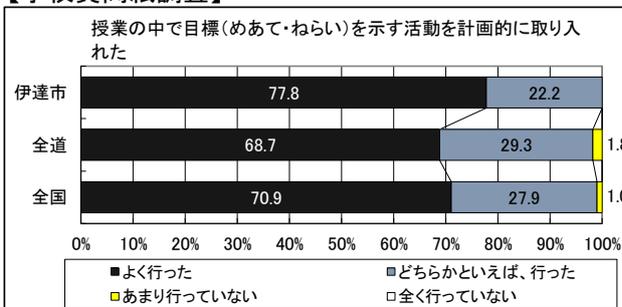
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aにおいて、全道の平均正答率を上回っており、全国とほぼ同様になっている。 ○ 国語Aでは、「書くこと」で、全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」で、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校において、学力・学習改善プランを策定し、学校全体で授業改善に取り組んだことにより、教師が授業の中で目標を提示し、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるようになり、学力向上につながったと考えられる。 ○ 伊達市学力テストを実施し、その結果から授業や指導法の工夫改善を図ったことにより、基礎・基本の定着につながり、国語Aにおいて全国の平均正答率を上回るとともに、各教科、領域において全国との差が小さくなったと考えられる。
児童質問紙	○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。	

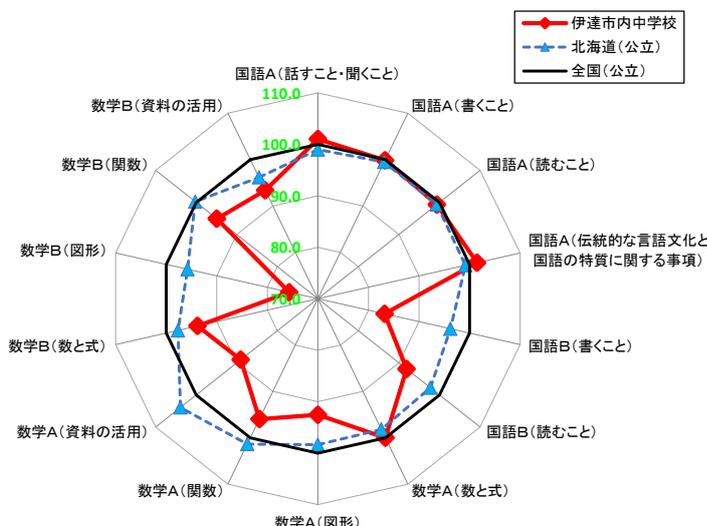
【伊達市の学力向上策】

- ◎ 伊達市学力テストの実施
- ◎ 学校ごとの学力・学習改善プランの策定
- ◎ 分科会形式の伊達市教育実践交流・研修会の実施
- ◎ 研究校を指定した公開研究会の実施

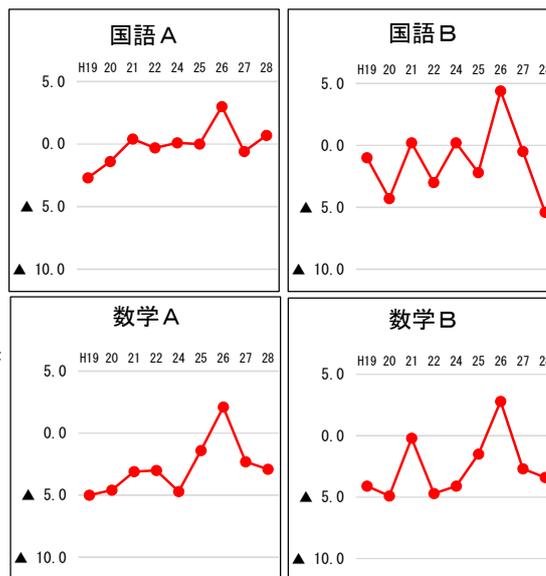
伊達市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4、生徒数:250名)

【教科全体の状況】

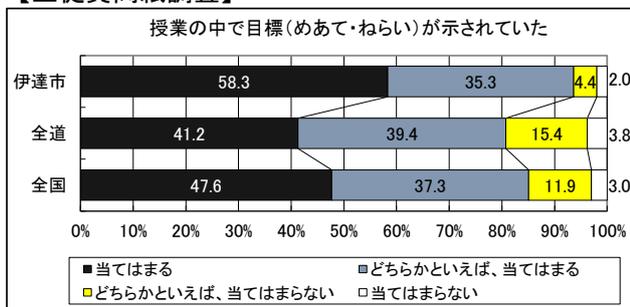
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



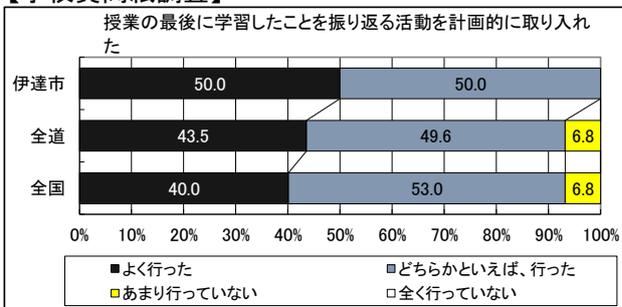
【平均正答率の全国との差の推移】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aにおいて、全国の平均正答率を上回っている。 ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「数と式」で、全国と同様になっており、全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校において、学力・学習改善プランを策定し、学校全体で授業改善に取り組み、教師が授業の中で目標を提示し、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組めるようにしたり、振り返りを位置付け、学習内容の定着を図ったりすることにより、学力向上につながったと考えられる。 ○ 伊達市学力テストを実施し、その結果から授業や指導法の工夫改善を図ったことにより、基礎・基本の定着につながり、国語Aにおいて全国の平均正答率を上回るとともに、各教科、領域において全国との差が小さくなったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【伊達市の学力向上策】

- ◎ 伊達市学力テストの実施
- ◎ 学校ごとの学力・学習改善プランの策定
- ◎ 分科会形式の伊達市教育実践交流・研修会の実施
- ◎ 研究校を指定した公開研究会の実施